

選挙特集

7月10日(日)が投票日

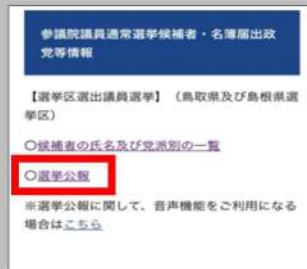
参院選2022 始まる

しまね県大政経塾報

(公財) 明るい選挙推進協会 若者選挙ネットワーク指定団体

7月10日(日)、第26回参議院議員通常選挙が行われる。そこで今回は、選挙の情報を入手する、初めの一歩を手伝わせていただく。

選挙公報の開き方 一島根県を例に一



①選挙関連の県のウェブサイトを開く。

②候補者・政党等の情報を開く。

③選挙公報を開く。簡単3STEP!

まず、各政党の主張を比較する、ということから始めたい。それができる一覧表を、実は県ホームページで見ることがができる。

それでは島根県の選挙公報を見てみよう。スマホを、Google等を開き、「島根県 選挙公報 2022」で検索。

「島根の選挙(島根県選挙管理委員会)」(トップ)が上位に来るので、それをクリック。「候補者・名簿届出政党等の情報」をクリックし、続いて「選挙公報」を開くと、PDFが出てくる。これを見れば、島根・鳥取選挙区の候補者の大まかな主張は分かる、というわけだ。そこから気になった政党にアクセスする、というのをオススメする。

この選挙公報は、市長選などの選挙でも掲載されるので、例えば「浜田市 選挙公報 2021」と検索すると、昨年の浜

田市長選挙の公報を見ることが出来る。「選挙をする場所 選挙公報 年数」または「選挙名 選挙公報 年数」

これでどの選挙も対応できるので、住民票が島根にない方も、ぜひ地元

の選挙公報を見ていただきたい。比較の一覧表があれば、より簡単に、か

おまけのあてももの

No. 6

今回は選挙に関する問題です!

①前回の参院選選挙(令和元年)について、島根県全体の投票率は何%だったでしょう?

- A 48.80% B 54.04% C 62.20% D 91.86%

②前回の参議院選挙(令和元年)について、島根県全体の20代前半(20~24歳)の投票率は何%だったでしょう?

- A 25.91% B 30.47% C 31.20% D 40.94%

③今回の参議院選挙では、全体で何議席が争われるでしょう(欠員選挙を含む)?

- A 125議席 B 245議席 C 248議席 D 475議席

※答えは3面右下

(折)

つより適切に、投票が行えるだろう。(大・介)

(参考)HP 島根県選挙候補者・名簿届出政党等情報 https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/committee/senkkyo/shi mane_senkkyo/sangin_jo uhou/sangi04-1.html?site=sp

はまだお魚市場を取材 水産都市浜田の今後



浜田の水産事情を語る石井さん(左)

ルサービスが指定管理者となり、昨年リニューアルオープンした。なお、同市場は商業棟と仲買棟からなり、仲買棟の方は「浜田魚商協同組合」が管理を行う。

水揚減に歯止めを

はじめに、同組合事務局長の石井信孝さん(74)よりお話を伺った。同市場の仲買棟には現在、小売業中心の9店舗、浜田で水揚げされた魚を県外へ送る「鮮魚送り」の店が3店舗ある。

まず、同氏に来客の多い時期や客層について伺うと「木、金曜日は地元の飲食店での提供のために魚を買いに来る人が多い。また、週末は広島方面からの観光客や、商業棟2階のフードコートでランチを食べに来る家族

連れが多い」とのことだった。

次に、浜田で水産業を行う上でのやりがいや苦労について「浜田には水産高校もあり、志のある若者も多い。しかし、船員のなり手が少ないという問題もある。そのため海外から研修生を招いているが、現在はコロナで入国出来ない」と語った。また、今後の目標について「平成初期には、浜田漁港の水揚げ金額は百億円を超していたが、近年は30億円台まで減少して

いる。水揚げの減少を何とかして改善したい」と語った。最後に大学生へ向けて「浜田の魚を食べ、皆さんの地元はその魅力を広めていってほしい」とメッセージを送った。(山)

魚の魅力を宣伝

つづいて、同市場2号館にある「中山鮮魚店」の中山和俊さん(48)にお話を伺った。

まず、この時期おすすめめの魚種について伺うと「梅雨の時期はイサキが旬で、脂がのっけていておいしい。7月になると高級魚のキジハタがおすすめ」と語った。



商品の製造過程を説明する中山さん(左)

同店は飲食店やホテルなどの事業者をメインに鮮魚送りをやっている。なお、発送先から調理の手間を省

くために、一次処理や切り身などにして納品して欲しいとの要望があれば、出来るだけ対応することになっているという。

次に、今後の目標を伺うと「浜田の基幹産業である水産業を衰退させたくない。そのためにも、もっと浜田の魚の魅力を宣伝して販路拡大していきたい。この店は創業75年、自分で3代目となる。祖父の代から受け継いできたからには、今後も続けていきたい」と笑顔で語った。最後に大学生へのメッセージとして「浜田市民に身近な水産業についても学んでほしい。また、魚屋がどのような仕事をしているか興味を持ってくれるとうれしい」と語った。~~~~~

今回の取材では、浜田の水産業や水産物販売について、一面に収まりきれないほど、たくさんのお話を伺うことができた。はまだお魚市場の皆様、取材にご協力いただき、ありがとうございます。(後)

市場の再オープン

6月9日(木)、浜田市原井町にある「はまだお魚市場(山陰浜田漁港公設市場)」に取材に伺った。

同市場は元々「しまねお魚センター」として運営されていたが、2019年に閉館。それを市が買い取った施設である。その後、広島県の第一ビ

政経塾シャドーキャビネット 模擬内閣で徹底討論 in 水無月

6月22日(水)、政経塾シャドーキャビネットが行われた。当塾生からなる模擬内閣の大臣たちが、時事問題を議論する同企画。今回は総務大臣と国土交通大臣が共同で発表した。

5月21日、岸田首相は文化庁の移転先となる京都府を訪れた。首相はその際、来年3月27日から移転先における文化庁の業務を開始すると明言し、東京一極集中の是正をアピールした。今回は同件に関連し、東京の官公庁や政府機関を他の地域へ移転させる「首都機能移転」の是非について議論を行った。

大規模災害で機能不全になる事態に備え、バックアップ施設を他の地域に設ける必要がある」との意見が挙がった。対して否定派からは、移転先でも災害発生の可能性は同様にあることや「ただでさえ難しい官庁間の連携が、地理的に離れることによりさらに難しくなる」との意見があった。また、移転先に選ばれた地域とそうでない地域の不公平や、利権と相まって不正

草莽独言

7月10日は何の日だろうか。本紙を読んだ読者の皆様はもうお分かりかもしれません。そう、第26回参議院議員通常選挙の投票日である。この投票日に行くことの出来ない方は、ぜひ期日前投票をご活用いただきたい。ちなみに浜田市では、市役所で前日9日まで期日前投票をすることが出来る。受付時間も、午前8時30分から午後8時まで

と余裕がある。ところで1面では選挙公報について紹介したが、「選挙ポスター」も情報を得る手段としておすすめてある。今回の選挙では、浜田市内の393か所に選挙ポスター掲示場が設けられ、大学の近くだと「総合福祉センター」や「いわみーる」辺りで見ることが出来る。通学や買い出し、散歩のついでに立ち寄ってみてもよいかも。それにしても、散歩する

にも暑い季節になった。6月に入り、ようやく梅雨に入ったと思っていた矢先、中国地方は28日に梅雨明けと気象庁から発表があった。今年の3分の1の期間しかなかった。セミも夏に向けての用意が全くできていなかったのか、あの忙しな声が聞こえてこない。読者の皆様は夏に向けての用意は出来ているだろうか。お体に気をつけながら、学業や就活などに励んでいた

(堀)

活動報告

選挙フォーラムに参加

5月31日(火)、後藤記者が明るい選挙推進協会主催の「明るい選挙参院選全国フォーラム」にオンラインで出席した。フォーラムでは、選挙に関する対談やパネルディスカッションが行われた。

パネルディスカッションには、選挙啓発に取り組む大学生などが登壇し、それぞれの活動や選挙に関する考えを述べた。コロナ禍で活動が制限される中でも、できることを考え積極的に行動していると伺い、自分も頑張らねばと奮起させられた。選挙の重要性について改めて考えることができた有意義な時間となった。(後)

な誘致合戦が起こる可能性などの指摘もあった。また財務大臣の観点からの意見として、莫大な移転費用が懸念点として挙げられる一方、東京にある既存の施設についても維持や建て替えには相当の費用がかかることが指摘された。また環境大臣の観点からの意見として、自然豊かな地域への移転により、環境問題の意識向上や国際的アピールができるとの意見が出た。一方で、省庁レベル

の大規模な移転となると、その分環境に配慮した立地選びや建築方法を行う必要性があるなど、環境保護の面でハードルが上がるとの意見もあった。議論の結果、首都機能移転に対しては否定的な方向でまとまった。しかし移転の有無にかかわらず、災害リスクの検討や、省庁内外の連携のためのオンライン設備の強化といった事業に関しては、引き続き行うことで合意した。(後)

編集後記

来月、この「しまね県大政経塾報」は復刊1周年をむかえます。復刊以来、計11号を発行してきました。これまでの皆様のご協力に心より感謝申し上げますとともに、これからもご愛読の程よろしくお願いたします。(後)

発行：しまね県大政経塾

〒697-0016

島根県浜田市野原町2433-2

島根県立大学浜田キャンパス

文化系クラブハウス2階208号室

メールアドレス：

kendai-pdc@u-shimane.ac.jp

編集責任者：後藤丈太

○おまけのあてもの答え
①B ②C ③A
最後までお読みいただきありがとうございます。学内メールで当報の定期配信をしています。配信をご希望の方は、左記のメールアドレスまでご連絡ください。